第３章　簿記の基礎③

３－１　P/LとB/Sのひな形

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

新しく勘定を学習したら、P/LとB/Sのひな形で確認しよう！

新しく勘定科目を学習したら、それが損益計算書または貸借対照表のどこに記載されるかを確認して下さい。なお、勘定科目の記載順番は覚える必要はありません。

損益計算書

2030年1月1日から2030年12月31日まで

売上原価	×××	売上高	×××
給料	×××	受取手数料	×××
広告料	×××	受取家賃	×××
旅費	×××	受取地代	×××
交通費	×××	受取利息	×××
通信費	×××	雑益	×××
消耗品費	×××	有価証券売却益	×××
水道光熱費	×××	固定資産売却益	×××
支払手数料	×××		
支払家賃	×××		
支払地代	×××		
保険料	×××		
発送費	×××		
租税公課	×××		
減価償却費	×××		
修繕費	×××		
貸倒損失	×××		
貸倒引当金繰入	×××		
雑費	×××		
支払利息	×××		
手形売却損	×××		
雑損	×××		
有価証券売却損	×××		
固定資産売却損	×××		
当期純利益	×××		
	×××		×××

貸　借　対　照　表

2030年12月31日

現　　　　金		×××	支　払　手　形	×××
小　口　現　金		×××	買　　掛　　金	×××
当　座　預　金		×××	借　　入　　金	×××
普　通　預　金		×××	手　形　借　入　金	×××
定　期　預　金		×××	未　　払　　金	×××
受　取　手　形	×××		未　払　消　費　税	×××
売　　掛　　金	×××		前　　受　　金	×××
貸倒引当金	×××	×××	仮　　受　　金	×××
立　　替　　金		×××	預　　り　　金	×××
貸　　付　　金		×××	商　　品　　券	×××
手　形　貸　付　金		×××	資　　本　　金	×××
未　　収　　金		×××	当　期　純　利　益	×××
前　　払　　金		×××		
仮　　払　　金		×××		
有　価　証　券		×××		
商　　　　品		×××		
建　　　　物		×××		
備　　　　品		×××		
車　両　運　搬　具		×××		
土　　　　地		×××		
		×××		×××

３－２　当期純利益の算定

【重要性：A】

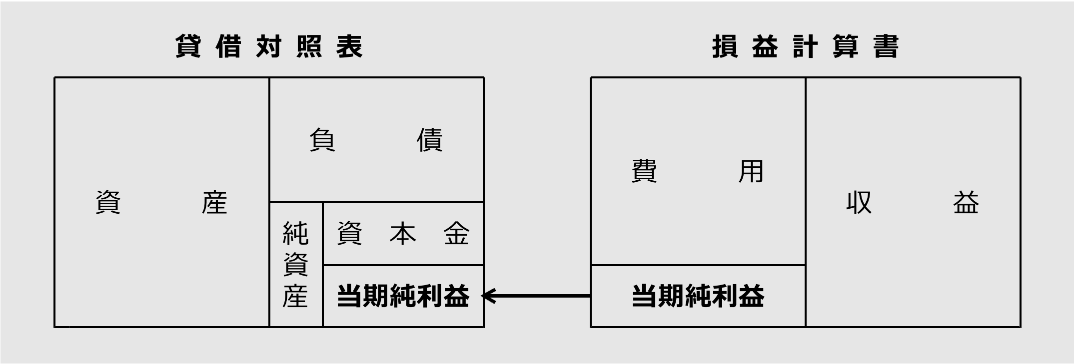
ＰＯＩＮＴ！

当期純利益の算定式を覚えよう！

損益計算書では、収益から費用を差し引いて**利益**を算定します。その利益は当期の１年間で獲得した純額の利益ですので損益計算書において**当期純利益**として表示されます。

収益　－　費用　＝　当期純利益

この当期純利益は、貸借対照表において**純資産**に**当期純利益**として計上されます。



３－３　P/L・B/Sの作成

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

勘定残高とP/L・B/Sの関係をマスターしよう！

（１）勘定残高からP/L・B/Sの作成

各勘定の残高をもとに損益計算書（そんえきけいさんしょ）・貸借対照表（たいしゃくたいしょうひょう）を作成します。

勘定から損益計算書・貸借対照表を作成する場合も転記と同様に行います。つまり、**借方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**借方**に記載し、**貸方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**貸方**に記載します。通常、資産（しさん）・費用（ひよう）は借方残高に、負債（ふさい）・純資産（じゅんしさん）・収益（しゅうえき）は貸方残高になります。

例題３－１　**次の勘定に基づいて、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。**
（ 例題２－６ と同じ数値です）

現　　金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
1	1	資本金	3,000	3	3	支払利息	300
2	2	借入金	2,000				
4	4	受取手数料	700				

借　入　金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
				2	2	現　金	2,000

資　本　金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
				1	1	現　金	3,000

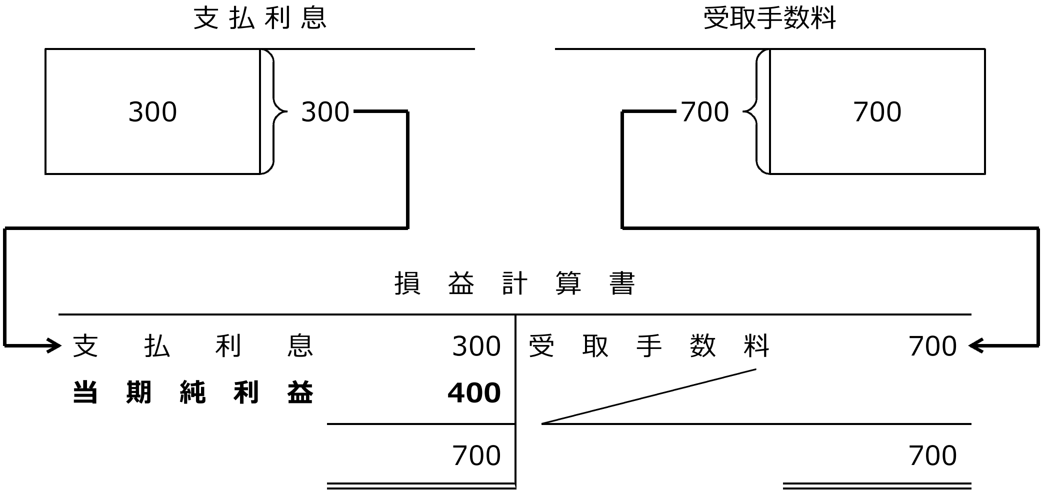
受取手数料

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
				4	4	現　金	700

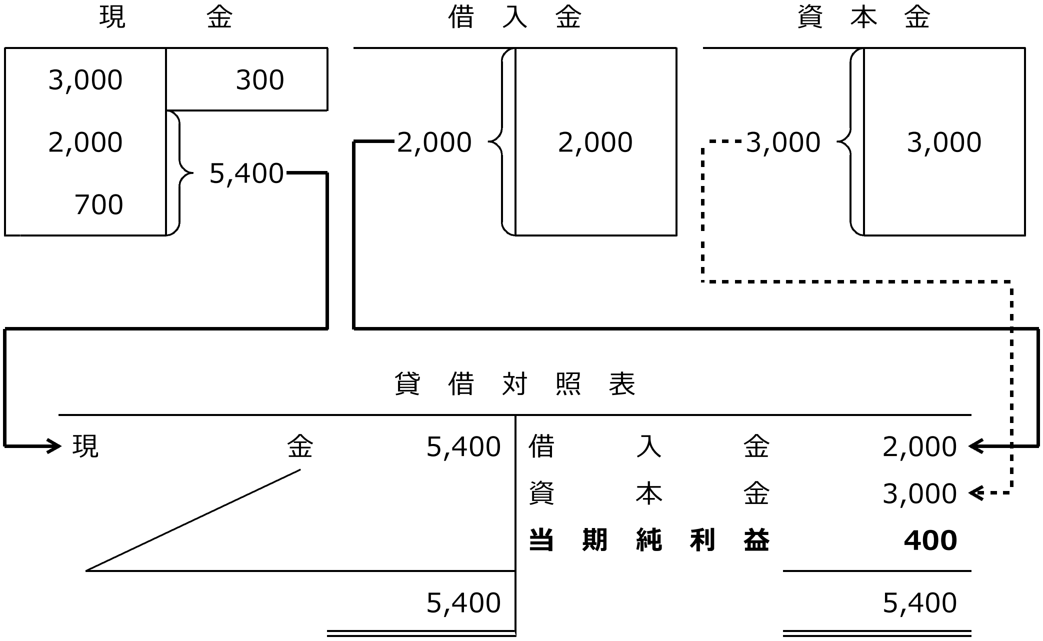
支払利息

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
3	3	現　金	300				

各勘定の残高を算定し、収益・費用は損益計算書へ、資産・負債・純資産は貸借対照表へ記載します。イメージしやすいように各勘定残高とP/L・B/Sの関係を示すと、以下のようになります。



当期純利益は**収益－費用**で算定します。



損益計算書で算定した当期純利益は貸借対照表では**純資産**として貸方に計上します。

（２）残高試算表からP/L・B/Sの作成

残高試算表（ざんだかしさんひょう）をもとにして、損益計算書・貸借対照表を作成することもできます。その作成方法は勘定残高の場合と同様に、**借方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**借方**に記載し、**貸方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**貸方**に記載します。

例題３－２　**次の残高試算表に基づいて、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。**
（例題３－１と同じ数値です）

残　高　試　算　表

借　　方	勘　定　科　目	貸　　方
5,400	現　　　　　金	
	借　　入　　金	2,000
	資　　本　　金	3,000
	受　取　手　数　料	700
300	支　払　利　息	
5,700		5,700

損　益　計　算　書

支　払　利　息	300	受　取　手　数　料	700
当　期　純　利　益	400		
	700		700

当期純利益は**収益－費用**で算定します。

貸　借　対　照　表

現　　　　　金	5,400	借　　入　　金	2,000
		資　　本　　金	3,000
		当　期　純　利　益	400
	5,400		5,400

損益計算書で算定した当期純利益は貸借対照表では**純資産**として貸方に計上します。

Point!　P/LとB/Sが当期純利益でつながっていることを理解しましょう！